

平成29年度 京都市

「文化芸術で人が輝く社会づくりモデル事業」において

ヒアリング調査を行った団体等の実態調査結果

質問項目		回答			
団体の概要について	Q1. 団体の設立年月（法人の場合は認証年月）はいつですか。	1949年以前	1950年 ～ 1959年	1960年 ～ 1969年	1970年 ～ 1979年
		1	0	0	1
	Q2-1. 貴団体の活動のエリアはどこですか。	京都市内	京都市外	【具体的には】 ・ 海外 ・ 拠点は奈良県奈良市、香芝市、活動エリアとなると広がる	
		11	7		
	Q2-2. Q2-1で京都市内と答えた団体について、活動のエリアで当てはまるものに全て丸をつけてください。	北区	上京区	左京区	中京区
		1	1	3	1
	Q2-3. 活動のエリアを決定した理由に当てはまるもの全てに丸をつけてください。	もともと活動の拠点が あったから	もともとその地域に 居住していたから	取り組むべき地域 課題があったから	偶然
		5	2	3	0
	Q3-1. 団体の組織運営について伺います。貴団体の専従職員の人数について当てはまるものに丸をつけてください。	0人	3人未満	3人 ～ 4人	5人 ～ 9人
		3	3	1	5
	Q3-2. 貴団体の非常勤・アルバイトの人数について当てはまるものに丸をつけてください。	0人	3人未満	3人 ～ 4人	5人 ～ 9人
		5	4	1	2
Q3-3. 貴団体の専従職員以外の方がプロジェクトの責任者になることはありますか。	ある	ない			
	6	8			
Q4. 貴団体の活動資金はどこから得ていますか。当てはまるもの全てに丸をつけてください。	事業収入	行政からの補助金・ 委託・助成金	寄付金	会費・団費	
	9	14	7	4	
Q5. 昨年度の貴団体の総収入について当てはまるものに丸をしてください。	0円	1円 ～ 99万円	100万円 ～ 499万円	500万円 ～ 999万円	
	1	1	2	3	
Q6. 貴団体の設立趣旨について伺います。最も当てはまるものに丸をしてください。	取り組むべき社会的 課題があったから	個人ではじめた活動 を大規模に展開する ため	営利目的	芸術活動を行 うため	
	11	1	0	1	

回答数：16 団体 / 調査数：22 団体

1980年 ┆ 1989年	1990年 ┆ 1999年	2000年 ┆ 2009年	2010年以降			
1	4	6	3			
東山区	山科区	下京区	南区	右京区	西京区	伏見区
1	1	4	1	0	0	0
特に理由はない	その他	【その他欄への記載内容】				
1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・130 館を目標に京都市が建てたため ・京都府立の公立病院だったため ・大学の学外企画として実施したため ・最適なテナントを紹介されたため 				
10人 ┆ 19人	20人 ┆ 29人	30人以上				
2	0	2				
10人 ┆ 29人	20人 ┆ 29人	30人以上				
1	0	2				
自己資金	民間団体の 助成金	民間団体の 協賛金	その他			
2	6	2	1			
1,000万円 ┆ 2,999万円	3,000万円 ┆ 4,999万円	5,000万円以上				
0	1	6				
その他	【その他欄への記載内容】					
3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉 ・学外企画を継続的に実施したい ・障害者への合理的配慮 					

質問項目		回答			
社会包摂型の活動について	Q7. 貴団体はどのような地域・社会の課題に取り組んでいますか。当てはまるものに3つまで丸をしてください。	コミュニティの形成	空き物件の活用	治安回復・維持	高齢者支援
		12	0	1	5
	Q8. Q7で回答した課題に取り組むことを目指した活動には具体的にどのようなものがありますか。当てはまるもの全てに丸をしてください。	セクシュアルマイノリティ支援	就労支援	貧困対策・支援	学校教育
		1	2	3	2
	Q9-1. 貴団体は活動の中に芸術・文化活動を取り入れてますか。	イベント・アートプロジェクトの開催	講座・ワークショップの開催	調査研究	政策提言・アドヴォカシー活動
		12	13	4	1
	Q9-2. Q9-1ではいと回答した団体に伺います。実施している芸術活動の分野は何ですか。最も当てはまるものに丸をしてください。	はい	いいえ		
		14	0		
	Q9-3. Q9-1ではいと回答した団体に伺います。芸術活動の内容には具体的にどのようなものがありますか。当てはまるものに3つまで丸をしてください。	美術	伝統芸能・伝統文化	演劇	音楽
		7	3	7	7
Q9-4. Q9-1ではいと回答した団体に伺います。芸術活動の記録はどのような形で残していますか。当てはまるもの全てに丸をしてください。	鑑賞機会の提供	ワークショップの企画・実施	発表機会の提供	商品開発・販売	
	8	12	4	3	
Q9-5. Q9-1ではいと回答した団体に伺います。芸術活動を継続することで感じている効果はありますか。当てはまるものに丸をしてください。	写真・映像記録	報告書の作成	SNS等Web媒体での発信	展覧会などイベントの実施	
	13	11	9	6	
活動の評価について	Q10. Q9-1ではいと回答した団体に伺います。芸術活動に対する評価をどのように検証していますか。当てはまるもの全てに丸をしてください。	地域での団体活動の周知	団体の活動に参加・団体を訪問する人が増加	芸術活動の参加者の心身状態の改善	職員の勤務態度への変化
		9	6	11	4
協働したい団体について	Q11. Q9-1ではいと回答した団体に伺います。芸術活動を行うに当たり、感じている問題はありますか。当てはまるものに3つまで丸をしてください。	参加者との意見交換	職員同士での意見交換	参加者または職員へのアンケート調査	外部機関への調査委託
		9	11	9	1
協働したい団体について	Q12. 今後芸術活動を実施・継続するに当たり、協力を求めたい団体はありますか。当てはまるものに3つまで丸をしてください。	財政基盤の不安定さ	地域からの理解が得られない	参加者の保護者や関係者から理解が得られない	協働団体とのコンフリクト
		7	0	0	0
協働したい団体について	Q12. 今後芸術活動を実施・継続するに当たり、協力を求めたい団体はありますか。当てはまるものに3つまで丸をしてください。	文化庁	地方自治体	企業	教育機関
		4	7	8	8

参考：地域に根ざしたアートと文化「大阪市：地域等における芸術活動促進事業」活動報告書、2016



若者支援	子ども支援	在日外国人支援	移住者支援	障害者支援	ひきこもり支援	ひとり親家庭支援
2	7	3	0	8	3	3
社会教育・生涯学習	防災・減災活動	その他	【その他欄への記載内容】 ・異なる人たちの共生の場 ・ソーシャルインクルージョン			
5	2	3				
ボランティア育成	中間支援	情報発信	施設運営	その他		
3	4	6	7	0		

ダンス・舞踊	複合芸術・表現活動	映像・映画	特定の芸術文化活動に特化していない	その他	【その他欄への記載内容】 ・触図 ・レクリエーション ・限界芸術	
4	7	1	1	3		
アウトリーチ・芸術普及活動	技術の伝承・習得	芸術文化に関する調査研究	政策提言・アドヴォカシー	その他	【その他欄への記載内容】 ・体験活動	
9	2	4	1	1		
特に記録は残していない	その他	【その他欄への記載内容】 ・定例会での報告				
0	1					
団体の広報への繋がりが（新聞記事として取り上げられるなど）	地域活動の活性化	特に効果は感じない	その他	【その他欄への記載内容】 ・アーティストに社会的な事を知ってもらえる		
4	5	0	1			
団体内部での調査・研究	その他	【その他欄への記載内容】 ・特に調査は行わない				
1	1					
活動場所を用意することが困難	参加者が集まらない	長期的なビジョンや目標が描けない	組織内で意見が対立する	適切な人材がいない	その他	特に問題はない
2	4	1	1	1	2	2
同種団体	中間支援機関	その他	【その他欄への記載内容】 ・地域に住んでいる人たち ・地域の団体 ・若手の芸術家、講師のような形で来てくれる人			
2	1	3				